シラバス参照

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

科目ナンバー	RMGT4602		
科目名	ゼミナールⅡ		
担当教員	瀧川　修吾		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火４		
講義室	1312	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ＤＰコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E ［学識・専門技能］専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-F ［探求力・課題解決力］問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP6-K ［表現力・対話力］文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 DP7-L ［協同力・牽引力］集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。 DP8-M ［省察力］知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状況に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ＣＲコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（ＣＲ）との関連 B1　自己啓発（5%） C1　倫理的思考・社会認識（5%） E1　学識と専門技能（25%） G1　状況把握（10%） I1　理解・分析と読解（5%） K1　ライティング・コミュニケーション（10%） K2　オーラル・コミュニケーション（10%） L1　チームワーク（20%） M1　総合的・応用的学修（10%）		
教員の実務経験	独立行政法人大学入試センター教科科目第一委員会委員として2015年4月より2018年3月まで勤務し，社会科学に関する基礎的かつ広範な知識の在り方について検討しました。 第１回		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 ３発展期～４完成期		
科目概要・キーワード	危機管理とその基底をなす社会科学，特に政治学・マスコミュニケーション論に関する専門的な研究活動を実践するために、必要な研究手法を学びます。具体的には、学生が主体となって選定した危機管理に関する共同研究や，個人研究テーマにつき、研究発表を行ったり，研究論文を執筆したりするため学識・専門技能を習得するための指導を行います。また，協働力・牽引力や，創造的挑戦力・達成力，表現力・対話力，省察力を習得するための，グループワークも積極的に行います。よって，授業形態は演習により行います。なお、授業を補完・代替する		

	ためオンライン授業（ライブ配信型）を取り入れます。 （キーワード）・政治学・マスコミュニケーション論・危機管理
授業の趣旨	■副題 政治・マスコミと危機管理に関する研究 ■授業の目的 危機管理と政治学・マスコミュニケーション論に関する諸問題についての研究、研究手法の会得、研究成果の発表の各過程を通じて、①学識・専門技能、②協働力・牽引力、③創造的挑戦力・達成力、④表現力・対話力、⑤省察力の各コンピテンスの開発を行うことを目的とします。 ■授業のポイント 将来のキャリアを意識した学問研究や進路研究，グループワーク等を通して、①自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢、②倫理観と公共心、③理解力・分析力などを涵養することを意識しましょう。
総合到達目標	■積極的かつ主体的な姿勢で政治学・マスコミ論及び危機管理学における諸問題を探求し、これを科学的な手法を用いて分析することができる。 ・政治学・マスコミ論及び危機管理学における問題を探求する能力を身につける。 ・政治学・マスコミ論及び危機管理学における問題を科学的な手法を用いて分析する能力を身につける。 ■様々な学説や分析結果を客観的かつ論理的に解釈して知見を見出し、その成果を卒業論文にまとめ、適切に公表することができる。 ・様々な学説や分析結果を客観的かつ論理的に解釈して知見を見出すことができる。 ・様々な知見を文章にまとめ，適切に公表することができる。
成績評価方法	■成績評価手段 実技・パフォーマンス各自2回（50%）：適用ルーブリック：E1・J1・K1・M1・B1・C１・I１ （評価方法）共同研究や個人研究，様々なグループワークなどを通じて，政治学・マスコミュニケーション論の専門知を獲得するとともに、自己のアイデンティティ―を確立し，これらを用いて社会を見る眼を養い，様々な問題を分析することができるか、そしてその中から研究テーマを各自で選定し，卒業論文の集成に向けて具体的な行動が採れているかについて評価します。 （フィードバックの方法） 講義中にその都度，口頭で行います。 ■授業参加度15回（50%）：適用ルーブリック：E1、I1、K1、K2、M１ （評価方法）他のゼミ生たちの研究発表やグループワーク等において，他者の意見を傾聴し客観的に把握・分析できているか，また学んだ知識や自らの意見等を適正かつ積極的に表明できているかといった点を評価します。活発な議論が生む集団の力を体感するために、全員で検討し、議論できているかを評価します。 （フィードバックの方法） 講義中にその都度，口頭で行います。
履修条件	特にありません。
履修上の注意点	「備えあれば憂いなし」と言いますが，準備を万全にして講義に臨みましょう。講義中は積極的な発言が望ましいですが，「ソクラテスの産婆術」という言葉もあるように，発言者の意見をしっかり聴くことが大切です。独りでは思い付かなかった素晴らしい意見や，そうしたアイデアの元になるヒントが得られることでしょう。そして，講義後も，一連のやりとりについて冷静な振り返りを行うことで，きっとさらなる発見があることでしょう。「士別三日，即更刮目相待」，次のゼミが楽しみで仕方が無くなることでしょう。
授業内容	回：1 内容：①授業テーマ ガイダンスとイントロダクション ②授業概要 （ガイダンス）授業概要、授業の目的と進め方、到達目標、成績評価方法について説明を行います。社会科学に関する基礎的かつ広範な知識の在り方について検討した実務経験に基づき，皆さんのキャリア形成に役立つ実践的な話をします。 （イントロダクション）研究方法（E1・J1)、プレゼンの手法（K1・M1)、議論の方法（L1・B1)について理解する。以上に掲げた到達目標につき，実践できるようになる。 ③予習（120分） ゼミナールⅠで学んだ内容を振り返り、ゼミナールⅡで取り組む研究内容を確認しておく。 ④復習（120分） ゼミナールⅠの概要と到達目標を確認し、何を習得すべきなのか確認する。

	2	①授業テーマ 　各自のテーマ発表①及びグループワーク ②授業概要 　発表担当者はこれまで学んだ知識を使い（E1・B1、I1）、政治学やマスコミュニケーション論，危機管理に関する問題点を発見し（M1），個人研究のテーマを発表する（K1・C1）。発表者以外は、そのテーマについて自らの知識を使い（E1・M1），異なる意見を述べたり（C1・G1），質疑応答したりしながら議論を進め（K1・G1・B1），そのテーマについてお互いに理解を深めていく（L1・I1・K1）。残りの時間は，グループワークや共同研究に取り組む。以上に掲げた到達目標につき，実践できるようになる。 ③予習(120分) 　発表予定のテーマ及びグループワークで扱うテーマについて調べ，関連知識をまとめてくる。また，共同研究における自らの役割について準備をしてくる。 ④復習(120分) 　今回の講義でどのような議論がなされたのか，また自分の果たした役割等について振り返りを行い，次回以降に活かすための整理を行う。
	3	①授業テーマ 　各自のテーマ発表②及びグループワーク ②授業概要 　発表担当者はこれまで学んだ知識を使い（E1・B1、I1）、政治学やマスコミュニケーション論，危機管理に関する問題点を発見し（M1），個人研究のテーマを発表する（K1・C1）。発表者以外は、そのテーマについて自らの知識を使い（E1・M1），異なる意見を述べたり（C1・G1），質疑応答したりしながら議論を進め（K1・G1・B1），そのテーマについてお互いに理解を深めていく（L1・I1・K1）。残りの時間は，グループワークや共同研究に取り組む。以上に掲げた到達目標につき，実践できるようになる。 ③予習(120分) 　発表予定のテーマ及びグループワークで扱うテーマについて調べ，関連知識をまとめてくる。また，共同研究における自らの役割について準備をしてくる。 ④復習(120分) 　今回の講義でどのような議論がなされたのか，また自分の果たした役割等について振り返りを行い，次回以降に活かすための整理を行う。
	4	①授業テーマ 　各自のテーマ発表③及びグループワーク ②授業概要 　発表担当者はこれまで学んだ知識を使い（E1・B1、I1）、政治学やマスコミュニケーション論，危機管理に関する問題点を発見し（M1），個人研究のテーマを発表する（K1・C1）。発表者以外は、そのテーマについて自らの知識を使い（E1・M1），異なる意見を述べたり（C1・G1），質疑応答したりしながら議論を進め（K1・G1・B1），そのテーマについてお互いに理解を深めていく（L1・I1・K1）。残りの時間は，グループワークや共同研究に取り組む。以上に掲げた到達目標につき，実践できるようになる。 ③予習(120分) 　発表予定のテーマ及びグループワークで扱うテーマについて調べ，関連知識をまとめてくる。また，共同研究における自らの役割について準備をしてくる。 ④復習(120分) 　今回の講義でどのような議論がなされたのか，また自分の果たした役割等について振り返りを行い，次回以降に活かすための整理を行う。
	5	①授業テーマ 　各自のテーマ発表④及びグループワーク ②授業概要 　発表担当者はこれまで学んだ知識を使い（E1・B1、I1）、政治学やマスコミュニケーション論，危機管理に関する問題点を発見し（M1），個人研究のテーマを発表する（K1・C1）。発表者以外は、そのテーマについて自らの知識を使い（E1・M1），異なる意見を述べたり（C1・G1），質疑応答したりしながら議論を進め（K1・G1・B1），そのテーマについてお互いに理解を深めていく（L1・I1・K1）。残りの時間は，グループワークや共同研究に取り組む。以上に掲げた到達目標につき，実践できるようになる。 ③予習(120分) 　発表予定のテーマ及びグループワークで扱うテーマについて調べ，関連知識をまとめてくる。また，共同研究における自らの役割について準備をしてくる。 ④復習(120分) 　今回の講義でどのような議論がなされたのか，また自分の果たした役割等について振り返りを行い，次回以降に活かすための整理を行う。
	6	①授業テーマ 　各自のテーマ発表⑤及びグループワーク ②授業概要

	発表担当者はこれまで学んだ知識を使い（E1・B1、I1）、政治学やマスコミュニケーション論，危機管理に関する問題点を発見し（M1），個人研究のテーマを発表する（K1・C1）。発表者以外は、そのテーマについて自らの知識を使い（E1・M1），異なる意見を述べたり（C1・G1），質疑応答したりしながら議論を進め（K1・G1・B1），そのテーマについてお互いに理解を深めていく（L1・I1・K1）。残りの時間は，グループワークや共同研究に取り組む。以上に掲げた到達目標につき，実践できるようになる。 ③予習(120分) 発表予定のテーマ及びグループワークで扱うテーマについて調べ，関連知識をまとめてくる。また，共同研究における自らの役割について準備をしてくる。 ④復習(120分) 今回の講義でどのような議論がなされたのか，また自分の果たした役割等について振り返りを行い，次回以降に活かすための整理を行う。
7	①授業テーマ 各自のテーマ発表⑥及びグループワーク ②授業概要 発表担当者はこれまで学んだ知識を使い（E1・B1、I1）、政治学やマスコミュニケーション論，危機管理に関する問題点を発見し（M1），個人研究のテーマを発表する（K1・C1）。発表者以外は、そのテーマについて自らの知識を使い（E1・M1），異なる意見を述べたり（C1・G1），質疑応答したりしながら議論を進め（K1・G1・B1），そのテーマについてお互いに理解を深めていく（L1・I1・K1）。残りの時間は，グループワークや共同研究に取り組む。以上に掲げた到達目標につき，実践できるようになる。 ③予習(120分) 発表予定のテーマ及びグループワークで扱うテーマについて調べ，関連知識をまとめてくる。また，共同研究における自らの役割について準備をしてくる。 ④復習(120分) 今回の講義でどのような議論がなされたのか，また自分の果たした役割等について振り返りを行い，次回以降に活かすための整理を行う。
8	①授業テーマ 各自のテーマ発表⑦及びグループワーク ②授業概要 発表担当者はこれまで学んだ知識を使い（E1・B1、I1）、政治学やマスコミュニケーション論，危機管理に関する問題点を発見し（M1），個人研究のテーマを発表する（K1・C1）。発表者以外は、そのテーマについて自らの知識を使い（E1・M1），異なる意見を述べたり（C1・G1），質疑応答したりしながら議論を進め（K1・G1・B1），そのテーマについてお互いに理解を深めていく（L1・I1・K1）。残りの時間は，グループワークや共同研究に取り組む。以上に掲げた到達目標につき，実践できるようになる。 ③予習(120分) 発表予定のテーマ及びグループワークで扱うテーマについて調べ，関連知識をまとめてくる。また，共同研究における自らの役割について準備をしてくる。 ④復習(120分) 今回の講義でどのような議論がなされたのか，また自分の果たした役割等について振り返りを行い，次回以降に活かすための整理を行う。
9	①授業テーマ 各自のテーマ発表⑧及びグループワーク ②授業概要 発表担当者はこれまで学んだ知識を使い（E1・B1、I1）、政治学やマスコミュニケーション論，危機管理に関する問題点を発見し（M1），個人研究のテーマを発表する（K1・C1）。発表者以外は、そのテーマについて自らの知識を使い（E1・M1），異なる意見を述べたり（C1・G1），質疑応答したりしながら議論を進め（K1・G1・B1），そのテーマについてお互いに理解を深めていく（L1・I1・K1）。残りの時間は，グループワークや共同研究に取り組む。以上に掲げた到達目標につき，実践できるようになる。 ③予習(120分) 発表予定のテーマ及びグループワークで扱うテーマについて調べ，関連知識をまとめてくる。また，共同研究における自らの役割について準備をしてくる。 ④復習(120分) 今回の講義でどのような議論がなされたのか，また自分の果たした役割等について振り返りを行い，次回以降に活かすための整理を行う。
10	①授業テーマ 各自のテーマ発表⑨及びグループワーク ②授業概要 発表担当者はこれまで学んだ知識を使い（E1・B1、I1）、政治学やマスコミュニケーション論，危機管理に関する問題点を発見し（M1），個人研究のテーマを発表する（K1・C1）。発表者以外は、そのテーマについて自らの知識を使い（E1・M1），異な

	る意見を述べたり（C1・G1），質疑応答したりしながら議論を進め（K1・G1・B1），そのテーマについてお互いに理解を深めていく（L1・I1・K1）。残りの時間は，グループワークや共同研究に取り組む。以上に掲げた到達目標につき，実践できるようになる。 ③予習(120分) 　発表予定のテーマ及びグループワークで扱うテーマについて調べ，関連知識をまとめてくる。また，共同研究における自らの役割について準備をしてくる。 ④復習(120分) 　今回の講義でどのような議論がなされたのか，また自分の果たした役割等について振り返りを行い，次回以降に活かすための整理を行う。
11	①授業テーマ 　各自のテーマ発表⑩及びグループワーク ②授業概要 　発表担当者はこれまで学んだ知識を使い（E1・B1、I1）、政治学やマスコミュニケーション論，危機管理に関する問題点を発見し（M1），個人研究のテーマを発表する（K1・C1）。発表者以外は、そのテーマについて自らの知識を使い（E1・M1），異なる意見を述べたり（C1・G1），質疑応答したりしながら議論を進め（K1・G1・B1），そのテーマについてお互いに理解を深めていく（L1・I1・K1）。残りの時間は，グループワークや共同研究に取り組む。以上に掲げた到達目標につき，実践できるようになる。 ③予習(120分) 　発表予定のテーマ及びグループワークで扱うテーマについて調べ，関連知識をまとめてくる。また，共同研究における自らの役割について準備をしてくる。 ④復習(120分) 　今回の講義でどのような議論がなされたのか，また自分の果たした役割等について振り返りを行い，次回以降に活かすための整理を行う。
12	①授業テーマ 　各自のテーマ発表⑪及びグループワーク ②授業概要 　発表担当者はこれまで学んだ知識を使い（E1・B1、I1）、政治学やマスコミュニケーション論，危機管理に関する問題点を発見し（M1），個人研究のテーマを発表する（K1・C1）。発表者以外は、そのテーマについて自らの知識を使い（E1・M1），異なる意見を述べたり（C1・G1），質疑応答したりしながら議論を進め（K1・G1・B1），そのテーマについてお互いに理解を深めていく（L1・I1・K1）。残りの時間は，グループワークや共同研究に取り組む。以上に掲げた到達目標につき，実践できるようになる。 ③予習(120分) 　発表予定のテーマ及びグループワークで扱うテーマについて調べ，関連知識をまとめてくる。また，共同研究における自らの役割について準備をしてくる。 ④復習(120分) 　今回の講義でどのような議論がなされたのか，また自分の果たした役割等について振り返りを行い，次回以降に活かすための整理を行う。
13	①授業テーマ 　各自のテーマ発表⑫及びグループワーク ②授業概要 　発表担当者はこれまで学んだ知識を使い（E1・B1、I1）、政治学やマスコミュニケーション論，危機管理に関する問題点を発見し（M1），個人研究のテーマを発表する（K1・C1）。発表者以外は、そのテーマについて自らの知識を使い（E1・M1），異なる意見を述べたり（C1・G1），質疑応答したりしながら議論を進め（K1・G1・B1），そのテーマについてお互いに理解を深めていく（L1・I1・K1）。残りの時間は，グループワークや共同研究に取り組む。以上に掲げた到達目標につき，実践できるようになる。 ③予習(120分) 　発表予定のテーマ及びグループワークで扱うテーマについて調べ，関連知識をまとめてくる。また，共同研究における自らの役割について準備をしてくる。 ④復習(120分) 　今回の講義でどのような議論がなされたのか，また自分の果たした役割等について振り返りを行い，次回以降に活かすための整理を行う。
14	①授業テーマ 　各自のテーマ発表⑬及びグループワーク ②授業概要 　発表担当者はこれまで学んだ知識を使い（E1・B1、I1）、政治学やマスコミュニケーション論，危機管理に関する問題点を発見し（M1），個人研究のテーマを発表する（K1・C1）。発表者以外は、そのテーマについて自らの知識を使い（E1・M1），異なる意見を述べたり（C1・G1），質疑応答したりしながら議論を進め（K1・G1・B1），そのテーマについてお互いに理解を深めていく（L1・I1・K1）。残りの時間は，グループワークや共同研究に取り組む。以上に掲げた到達目標につき，実践できるようになる。

		③予習(120分) 　発表予定のテーマ及びグループワークで扱うテーマについて調べ，関連知識をまとめてくる。また，共同研究における自らの役割について準備をしてくる。 ④復習(120分) 　今回の講義でどのような議論がなされたのか，また自分の果たした役割等について振り返りを行い，次回以降に活かすための整理を行う。
	15	①授業テーマ 　各自のテーマ発表⑭及びグループワーク，ゼミナールⅡの総括 ②授業概要 　発表担当者はこれまで学んだ知識を使い（E1・B1、I1）、政治学やマスコミュニケーション論，危機管理に関する問題点を発見し（M1)，個人研究のテーマを発表する（K1・C1）。発表者以外は、そのテーマについて自らの知識を使い（E1・M1)，異なる意見を述べたり（C1・G1)，質疑応答したりしながら議論を進め（K1・G1・B1)，そのテーマについてお互いに理解を深めていく（L1・I1・K1）。残りの時間は，グループワークや共同研究に取り組む。以上に掲げた到達目標につき，実践できるようになる。 ③予習(120分) 　発表予定のテーマ及びグループワークで扱うテーマについて調べ，関連知識をまとめてくる。また，共同研究における自らの役割について準備をしてくる。 ④復習(120分) 　今回の講義でどのような議論がなされたのか，また自分の果たした役割等について振り返りを行い，次回以降に活かすための整理を行う。
関連科目		「自主創造の基礎１・２（RMGT1215・RMGT1216）」・「危機管理基礎演習Ⅰ・Ⅱ（RMGT2601・RMGT2602）」・「ゼミナールⅠ・Ⅲ・Ⅳ（RMGT4601・RMGT4603・RMGT4604）」と関連します。
教科書		適宜，指示します。
参考書・参考ＵＲＬ		適宜，指示します。
連絡先・オフィスアワー		■連絡先　開講時に告知します。メール（takigawa.shugo@nihon-u.ac.jp）をはじめ、LINEやClassroomも積極的に使います。 ■オフィスアワー　火曜日３限　それ以外の時間については、メール等で事前にアポイトメントとをとることにより研究室で対応します。
研究比率		■危機管理領域との対応 　災害マネジメント25%、パブリックセキュリティ25%、グローバルセキュリティ25%、情報セキュリティ25% ■危機管理学と法学とのバランス 　危機管理学30%、法学70%

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.